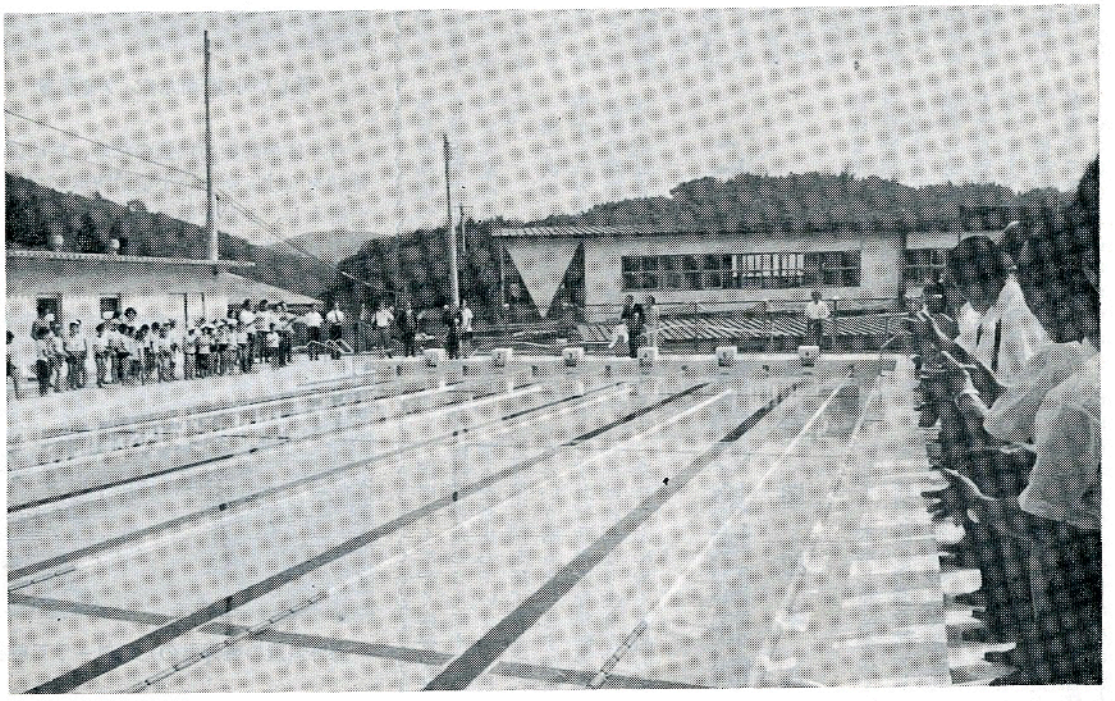
広報
さめがわ

昭和50年
9月号
No.262
編集兼発行
鮫川村総務課
塙町 佐藤印刷所



鮫川小学校の水泳プールが竣工して
盛大なプール開き

待望の鮫川小学校水泳プールは、昭和50年度事業として建設工事が進められていたが、8月27日完成し、盛大なプール開きが行われました。

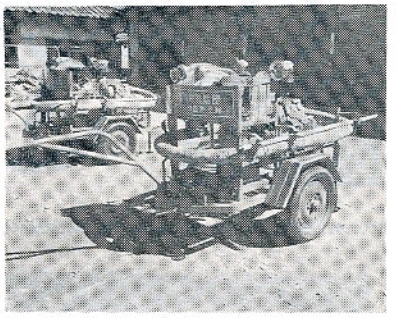
この日は衆議院議員八田貞義先生も出席され、石田村長、松本教育委員長とともに、テープカットに参加され、続いて元本校職員であつた稲垣先生の模範泳法の披露がありました。

そのあと、児童の選手たちが競泳しましたが、山の子供とも思えないほど見事な泳ぎぶりで、参会者一同から惜みなき盛んな拍手がおくられました。

- ⊙ 1日　交通事故ゼロ、歩行者優先の日
- ⊙ 5日　交通事故相談日　（白河地方行政連絡室）TEL白河(2)1550
- ⊙ 10月1日から赤い羽根共同募金運動
- ⊙ 第3日曜日は『家庭の日』

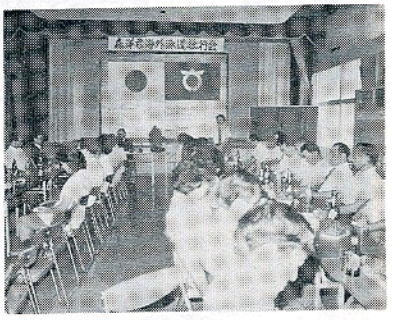
今月の人口
（8月1日 現在）

人口	5,997	（－ 8）
男	3,004	（－ 8）
女	2,993	（ 0）
世帯	1,164	（－ 1）



新しい小型消防ポンプを配置

今年は消防戦力増強のため、村は国の補助をうけ、新しい小型消防ポンプを2台購入し、これを第二分団第1班（西野塚本）と第6分団第3班（富田中沢）に配置しました。



海外派遣の森洋君のためコーラで乾杯

村の経済課職員である森洋君は、県の若人の翼に参加して西ヨーロッパに派遣されることになつたので、9月1日職員一同で壮行会を開き、コーラで乾杯し、これを激励しました。

納税

9月
固定資産税第二期
10月
保険税　第四期
村県民税　第二期
国民年金　第三期

納期内に納めましよう

おめでた

八月　世帯主
中沢　長久保敏美父長久保利生
余所内　関根恵美　父関根正一
鍬木田　坂本　実　父坂本重男
木之根　浅野恵一　父浅野勝敏
中野町　山形朋子　父山形一雄

おくやみ

八月　年令　世帯主
新宿　斎須　寛　52斎須寛一
岫長　北条佐四郎75北条久弥
岩野草　須藤好幸　26須藤芳一
西野内　関根宗左衛門47関根義明
後折戸　阿久津健蔵77阿久津正次
真坂　緑川ヤソ　67緑川利清

むり、むだをなくそう

日光を見ない方が結構

電気冷蔵庫は、発熱するもの（コンロ、ストーブ等）のそばや、日光の直射を受ける所におくと余分な電力を使います。熱源の近くをさけたり、日のあたらない場所に移すと、電力は約三〇パーセント少なくてすみます。

総理府PR紙より

特産の歩み（5）

こんにやく製品の地域認証制

村長　石田卯子八

福島県の特産農業であり、またわが地方の誇るべき特産農業であるこんにやく栽培は、数年前まで経済の高度成長と軌を同じくし、栽培面積、生産額ともに急増しました。

こんにやくの栽培面積は本県全体で約二、〇〇〇ha、その半数を東白川四町村で占めていたわけですが東白川農業改良普及所の調査によると、昭和四九年度四町村で一二〇〇ha、生産額種芋を除き四〇億円となつております。

米が約二二億円ですから大変大きな産業に成長したわけで、それだけにまた農家経済に重大な影響をもつ基幹産業になりました。

わが村でも一昨年こんにやく生産者連盟を結成し、主として生産技術面の改善向上と、第一次の荒粉加工と、第二次の精粉加工へまで進める努力を続けてきました。

第一次の加工施設は各町村の農協がこれを設置するものとし、第二次の精粉加工施設は四町村長が国の補助をうけ、用地を調達する段階まで進めたうえ、建設、運営は県経済連の担当としました。

ところがこんにやくの全国的な消費はあまり伸びず、価格が低迷して荷動きが活発でないといわれています。従つて消費の拡大を図り、価格の維持向上に努めることが当面の重要な課題となりました。

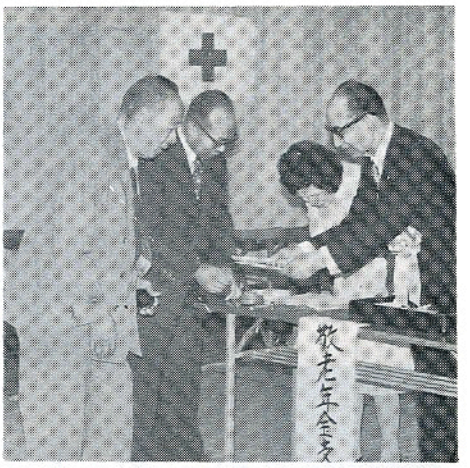
国はこんにやく産業を守り、価格維持のためこんにやく粉の海外輸入を禁止しています。しかし最近は第三国を経て製品で入つているという話もありますから、事実とすれば政策的な措置をとつて貰わなければなりません。

次にこんにやく製品の規格を統一して、水増し製品をなくすことが、原料粉の消費を拡大し、製品の信頼性を高める大きな要素になります。

農林省の製造の準則によれば板こんの場合、精粉一に対し水三七倍以下。系こんの場合精粉一に対し水二七倍が適当とされているが、現実に販売されている製品は板こんで約四〇倍から五〇倍のものが多いという話ですから、この際製品の規格統一によつて生産量の増加分を吸収することが極めて重要な対策であります。

それには農林物資規格法による日本農林規格（JAS）をこんにやく製品に適用させることが考えられますが、さし当りは地域認証制を採用して、県が規格製品に認証のマークをつけることを、既に静岡、山形、香川の各県が実施しています。

本県はまだ準備、検討の段階にも入つていないらしいので、是非実施するよう促進したいと思います。



今年の敬老会は、九月一四日、鮫川小学校屋内運動場で開催されましたが、この日八〇才以上の老人には一人五、〇〇〇円、八五才以上の老人には七、〇〇〇円の敬老お祝金が村長から贈らました。



年に一度の敬老会とあつて、この日はスクールバスの送迎を受けられ、430人の高齢者の皆様はほとんどご出席。小湊法筐一行の慰安芸能で楽しい1日をすごされました。

県個人住宅建設制度のご案内

福島県では、土地の用意はできたが建設資金が不足している方や増改築工事を希望される方の持家制度を促進するため、次のとおり資金利用者を募集しております。

記

一、申込受付
昭和五〇年九月八日からとし予算枠を消化したときは、締切ります。

二、申込受付場所
白河建設事務所建築課

三、制度資金の利用条件
㈠ 利率、年八パーセント
㈡ 期間、一〇年間毎月払
㈢ 利用額の最高額は四〇〇万円で住宅金融公庫等の資金と併用する場合は二〇〇万円が限度です。また、増改築工事については限度額一〇〇万円とし、最低額は五〇万円です

四、毎月の割賦金計算

資金制度	必要年収入	初回割賦金	最終回割賦金
一〇〇万	五〇万円以上	一〇、四四九円	一三、六四四円
二〇〇万	一〇〇万円以上	二一、八九九円	二七、四二一円
三〇〇万円以上	一五〇万円以上	三二、七八八円	四三、七八〇円

五、その他
くわしいことは、県土木部住宅課又は白河建設事務所におたずね下さい。



村一番の最高令者は、95才の舟木ヤエさん（西野・岡田）と長井キヨさん（青生野・姿平）ですが、長井キヨさんは今年の敬老会に元気なお姿で出席され、皆さんのお祝いの言葉も一つ一つうなずいて聞かれ、慰安芸能も最後までたのしまれました。

健康管理コーナー

◇健康なことは幸福であり
◇幸福であることが健康で
◇ある証拠でもある

胸ヤケ・ゲップは危険信号
無酸でも胸がヤケる

一般的に胸ヤケが起きると胃酸過多症が原因と思いがちですが、反対に無酸症でも、胃ガンの場合でも胸ヤケが起きます。

もちろん胸ヤケと胃酸過多とはまったく無関係ではありません。胃液検査によつて胃酸過多症の方の七〇％以上が胸ヤケを訴え、正常な胃酸の人では、わずか八％という例もあります。

しかしこうしたごくあたりまえの胸ヤケなら問題ありませんが、例外的にみられる無酸症がむしろ危険なのです。胃酸過多だと思つているうちに胃ガンになつている例があります。

くさいげつぷは危険

げつぷは、胃の中にたまつた気体が口から出る現象ですが、胃や十二指腸の病気は必ずげつぷが出ます。

生理的なげつぷは心配ありませんが病的な原因で起るのが問題で医師の診断を受けることが大切です。

～一口健康メモ～

気温差の激しい十月、十一月はカゼが流行しやすいときです。寒さ、人ごみの中への外出、タバコの吸いすぎ、睡眠や栄養不足に注意して下さい。

特に血圧の高い人は、これからの季節が要注意です。

急な寒さのため手、足を冷やしますと脳溢血などで倒れたりする場合があるので、急激に冷やさないよう保温に注意して下さい。

＝健康診断は自分自身のためのもの＝

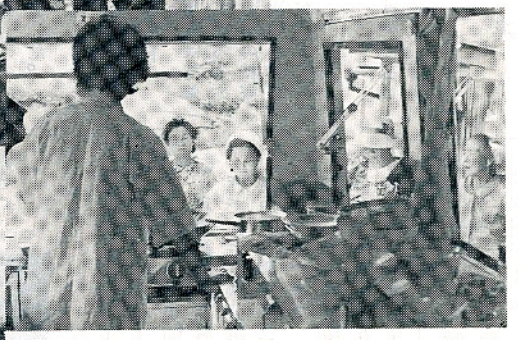
赤い羽根

おなじみの「赤い羽根」は一〇月のシンボルです。明るく住みよい村づくりに、不幸な人たちのために役立てようと、社会全体が共同して行う募金活動です。

栄養指導車 青生野部落へ!!

地域ぐるみで健康管理を推進しようと、今年の五月に青生野地区が保健栄養対策モデル地区に指定され、移動保健所の開設や食事献立調査などを実施していますが、農村に多い高血圧追放は先ず食べものから…と九月四日に栄養指導車が来村し青生野部落で料理実習を行いました。







当日は、世々麦部落と大犬平部落の2か所で農村向きの、身近かにある材料で、しかも栄養に富み、高血圧にならない料理の講習が行われ部落の方々は、野良仕事の合間に多数会場に集り、熱心にメモをとつていました。

講習が終つて先ず試食です…味もまた格別。

ある中年の主婦の方は「これでうちの父ちやんの高血圧もいつぺんになおつぺナ。オラー今日はカロリーだの蛋白源だのと むづかしいことを覚えたので 一つ利口になつたぞイ」など云つてみんなを笑わせていました。とにかく大竹区長を中心に部落の方々は真剣に取り組んでおり、当日は有意義な講習会でした。

がけくずれ防災の心得

▼日頃の注意と心がけ

こんなことはやめましょう

一、がけ下を切つたり、がけの上に土を盛るなど、がけに手を加えること。

二、がけのそばに家を新築したり増築したりすること。

三、水をたれ流しにしたりがけの上に水をためたりすること。

▼あなたも出来る防災の措置

がけの周囲を日頃から見廻り、次のようなことを早めに行いましょう。

一、風で地盤をゆさぶるような大木を切り倒す。

二、不安定な土塊をとり去る。

三、雨水などをがけに流さないように水路をつくる。

四、ビニール等でがけを覆い雨水の浸水を防ぐ。

五、崩れそうな箇所に木や板の柵をつくるとか石積をする。

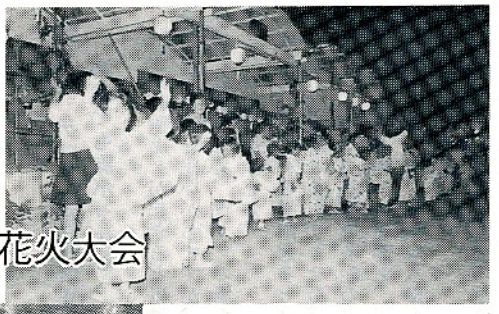
六、水路の掃除。

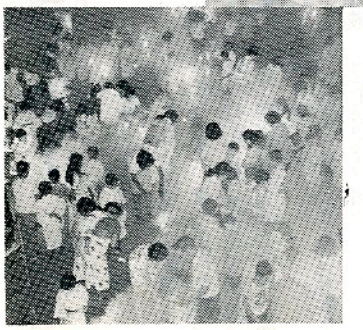
白河消防署鮫川出張所

渡瀬小学校に雑巾を寄附

老人クラブ「渡瀬長寿会」では会員が手造りの雑巾を持ち寄り、学校で役立てて下さいと寄附され大変喜ばれています。

保育所と児童館で 夏祭り花火大会





保育所と児童館では8月20日（児童館）29日（保育所）に恒例の夏祭り花火大会が行われました。こどもたちにとつては待ちに待つた楽しい行事。ゆかた姿のこどもたちは、お母さんとともに歌つたり、おどつたり、そしてみんなに花火が配られると先生の合図で一せいに火がつけられ去りゆく夏の夜の一ときをすごしました。